

し き が わ ら

特別展

敷瓦の世界

—「タイル」の前の物語—

日本のタイルの前身ともいわれる敷瓦。大陸からの影響を強く受けた仏教建築の床材に使われ、施釉されたものは瀬戸が中心的な生産地となっていました。一方、茶道具の一種として愛でられる側面もあり、さまざまな技法や形のもものが作られました。明治時代には、白い化粧土をかけた陶器質の素地に、銅版転写を施す技法が流行し、後にはマジョリカタイルのデザインなども取り入れた「本業タイル」へと展開します。それは西洋のタイル文化が普及しつつあるときに、日本的な解釈で発展した「タイル」の姿でした。

本展は、地元の名家から当館に寄贈された敷瓦のお披露目と併せて、多様な敷瓦をご覧いただく貴重な機会となるでしょう。

主 催	多治見市モザイクタイルミュージアム
協 力	INAX ライブミュージアム
会 期	平成 30 年 6 月 23 日（土）～9 月 24 日（月・祝）
会 場	多治見市モザイクタイルミュージアム 3F ギャラリー
休 館	月曜日（祝日の場合は翌平日）
開館時間	午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）
出品点数	30 点前後

広報・取材を
お願いいたし
ます。

見どころポイント

- ① INAX ライブミュージアムや瀬戸蔵ミュージアム等のご協力のもと、様々な敷瓦を展示します。
- ② 近隣各所の敷瓦のある空間を、写真を使ってご紹介します。
- ③ 現在も敷瓦を製造している工場を取材し、製造方法や古くから用いている道具を展示します。

まち歩き等、関連企画も計画中。

問い合わせ先

多治見市モザイクタイルミュージアム 担当 村山

〒507-0901 多治見市笠原町 2082-5 TEL: 0572-43-5101/FAX: 0572-43-5114

URL: <http://mosaictile-museum.jp>

